

事務事業名	にのみや商工会財政支援事業				担当	産業環境部 商工観光課 商業係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			電話番号	0285-83-8643		
施策名	2	商業の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	真岡市補助金等交付規則					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和35 年度～）		
予算科目	1.一般会計	7.商工費	1.商工費	2.商工振興費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	<p>にのみや商工会は、二宮地区の商工業の総合的な活性化を図り、社会一般の福祉の増進に資することを目的に商工会法に基づき設立されている。主たる業務は経営改善普及事業、税務経営対策事業、雇用保険の推進、小規模事業者経営改善資金貸付制度及び会員福祉共済融資制度等の金融制度普及の推進に取り組む。また、中小企業近代化対策として「プレミアム付商品券」やポイントカード「金ちゃんカード」を発行し、地域商店の活性化を図っている。その他ふるさと活性化事業として独自のイベント企画や各種イベント参加に取り組んでいる。</p> <p>役員は会長、副会長2名、理事15名、監事2名を置く。事務局は局長1名、経営指導員2名、経営支援員2名の計5名。旧二宮町では、平成17年度から3年間、行財政改革の一環として、年5%（600千円）づつ削減した。</p> <p>市町村は商工業の振興発展を図る行政上の責務があり、主に指導・金融・環境整備の分野を対象に団体助成を行っている。</p>							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
27年度実績 補助金交付 申請 交付決定 補助金支出（四半期ごと） 事業実施 実績報告 額の確定 真岡市（旧二宮町） 商工会経営改善普及事業補助金 8,500千円（事務職員減による減額） 財政補助の使途や積算根拠を明示するため、主業務となる経営改善普及事業に係る経費の1/4（限度額850万円）を交付することとした。		名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
28年度計画 27年度と同様 経営改善普及事業補助金（8,500千円）		ア 補助金額	千円	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 にのみや商工会		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
		ア 商工会会員数	事業所	371	360	353	346	350
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 商工会の経営指導等により、市内（二宮地区）の商工業者の活性化と経営改善を図る。		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
		ア 商工会会員数の増減数	事業所	-6	-11	-7	-7	4
		イ 巡回・窓口経営指導件数	件	3,296	3,138	2,812	3,229	3,300
		ウ 創業指導件数	件	7	14	4	31	40
		エ						
		オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 商工業の振興（売上げの増大、身近な生活圏での商業・サービス業の確保）		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
		ア 商品販売額(卸売・小売業) 26商業統計	千円	101,408,370	-	102,972,160	-	-
		イ 製造品出荷額 26工業統計	千円	543,429,870	-	551,100,800	-	-
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	8,500	8,500	8,500	8,500		
	事業費計(A)	千円	8,500	8,500	8,500	8,500		
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	24	24	24	24	
		人件費計(B)	千円	101	98	101	101	
トータルコスト(A)+(B)		千円	8,601	8,598	8,601	8,601		

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	商工会は営利団体ではないため、昭和35年の二宮町商工会発足時から、商工業者の活性化と会員への経営指導により経営の安定化により商工業の振興を図る目的に支出した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成21年度は景気の悪化等で会員数が大きく落ち込んだ。 県商工連合会の指導により、平成20年度から「商工会「現場力」底上げ事業」などを実施している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 商工会は市内(二宮地区)商工業者等の育成強化と商工振興を図っており、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市町村は商工業の振興発展を図る行政上の責務があり、地域の活性化等の確保に役立っているためである。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 商工会は、市内(二宮地区)商工業者等の育成強化と経営改善を図っているため適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 商工業者の経営改善と活性化に結びついており、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 商工業者等の相談窓口、指導機関としての機能が弱体化してしまうので影響がある。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 真岡商工会議所財政支援事業 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない 商工会議所とは根拠法令が異なるためすぐには統合できない。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 商工会の指導による商工業者等の活性化と経営改善が図れなくなり、削減余地がない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 補助金交付事務と会議出席等最小限の人件費で、削減の余地がない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 商工会は営利団体ではなく、会員から会費を徴収しており公平公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							